

ことの始まりは
私の幼馴染の
一言から

竜ちゃん何か用？

私はこの時
思いもしなかった

まさかこの
竜ちゃんが

あんな、かほ。

じつは
俺……

女の子になりたいんだ

ぽっ

えっ？

こんな告白を
するなんて

ーっと思っていた
時期も私にも
ありましたか……

竜ちゃんまだ
決まらないの？

うーん
もう少し

寧ろ今は

あったあった

見て
見て
かほ！

これすっごく
可愛くない？

before

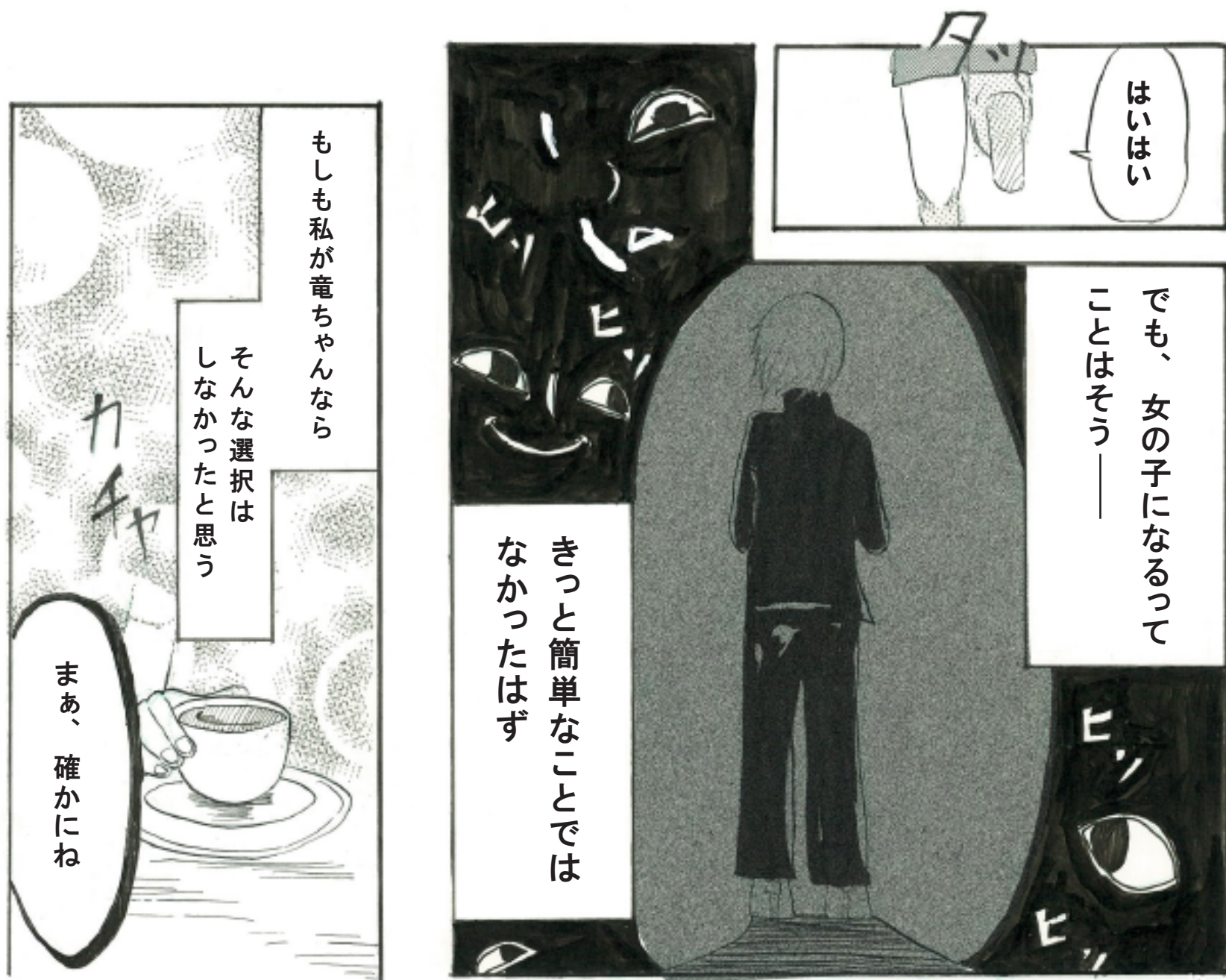
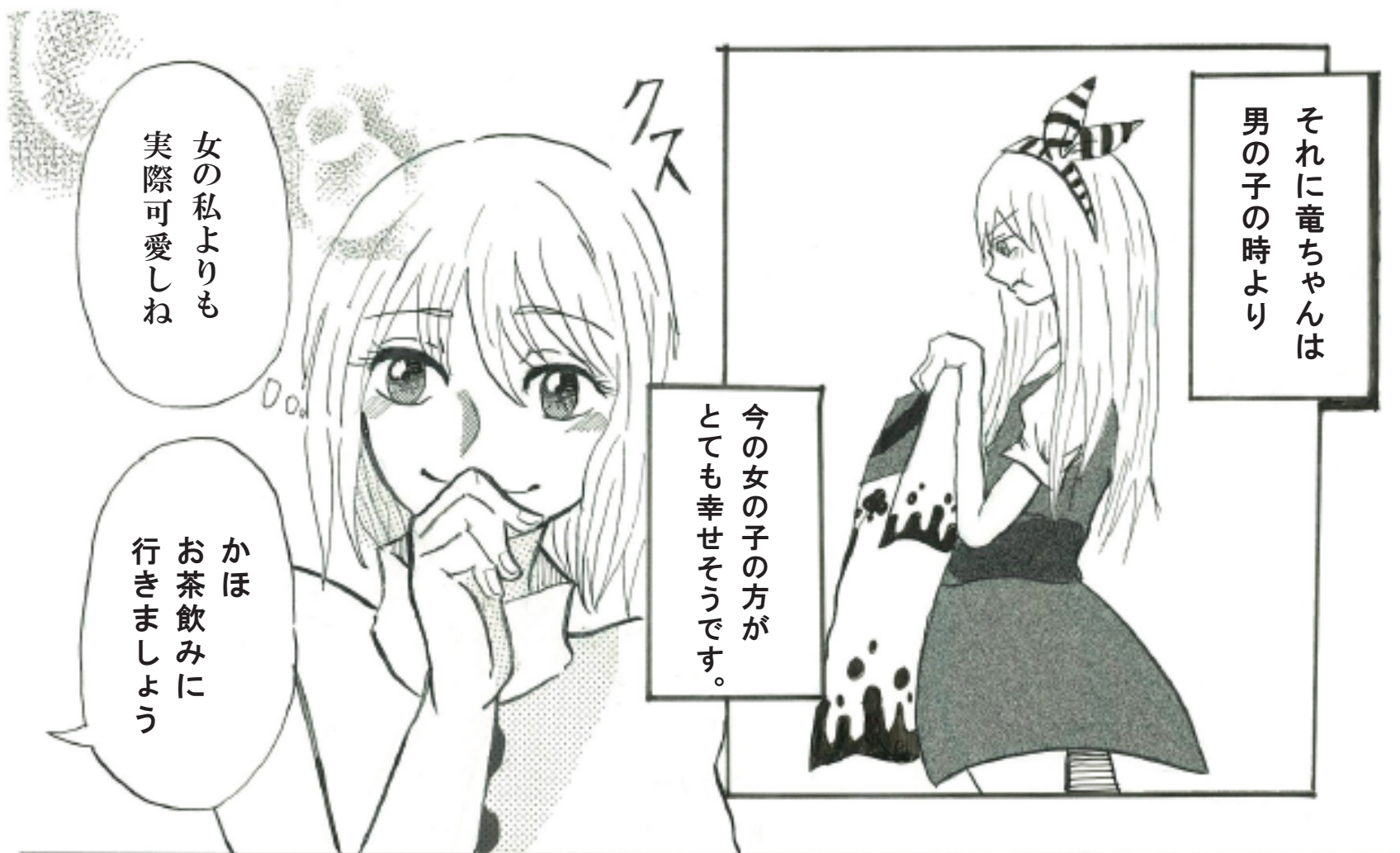
after

もう慣れて
しまいました。

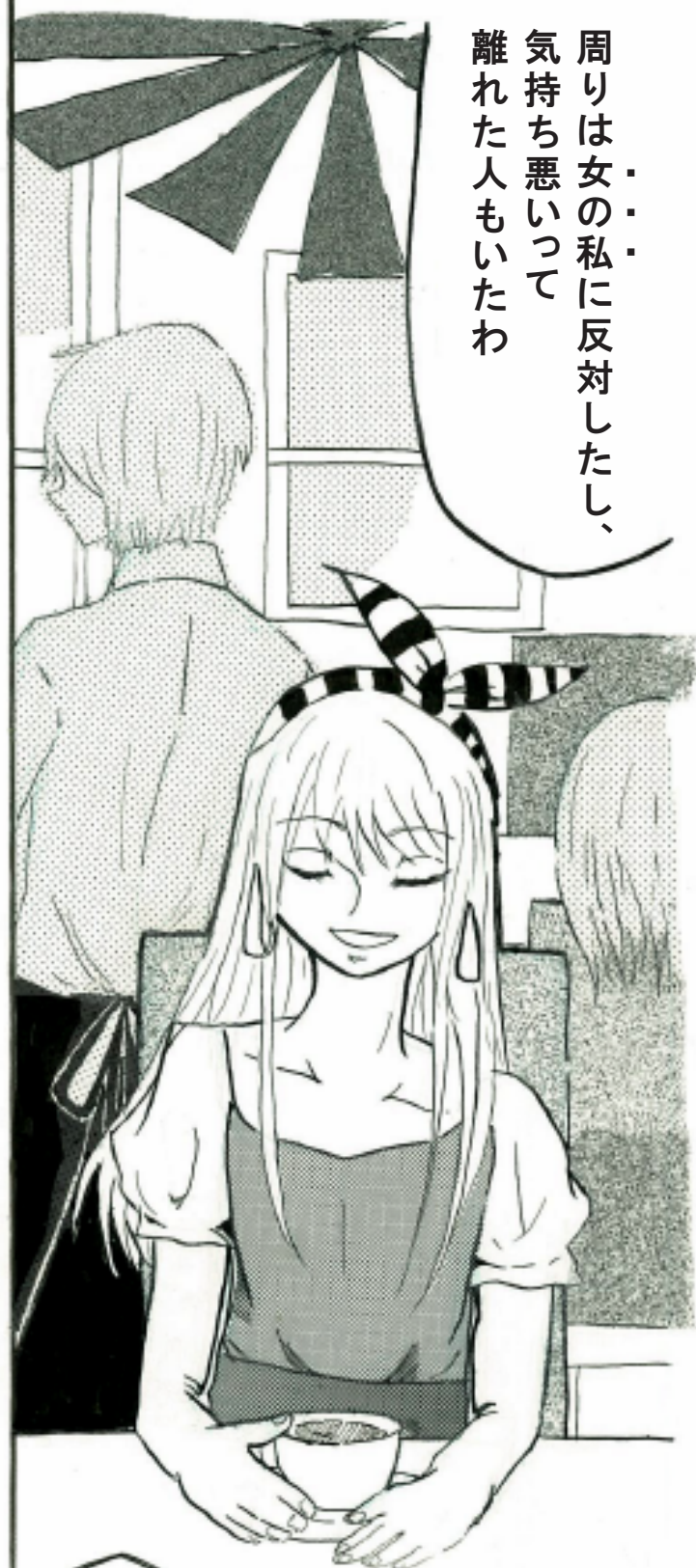
あー、うん
可愛い可愛い

ちょっぴりー！

棒読みやめてよ！！



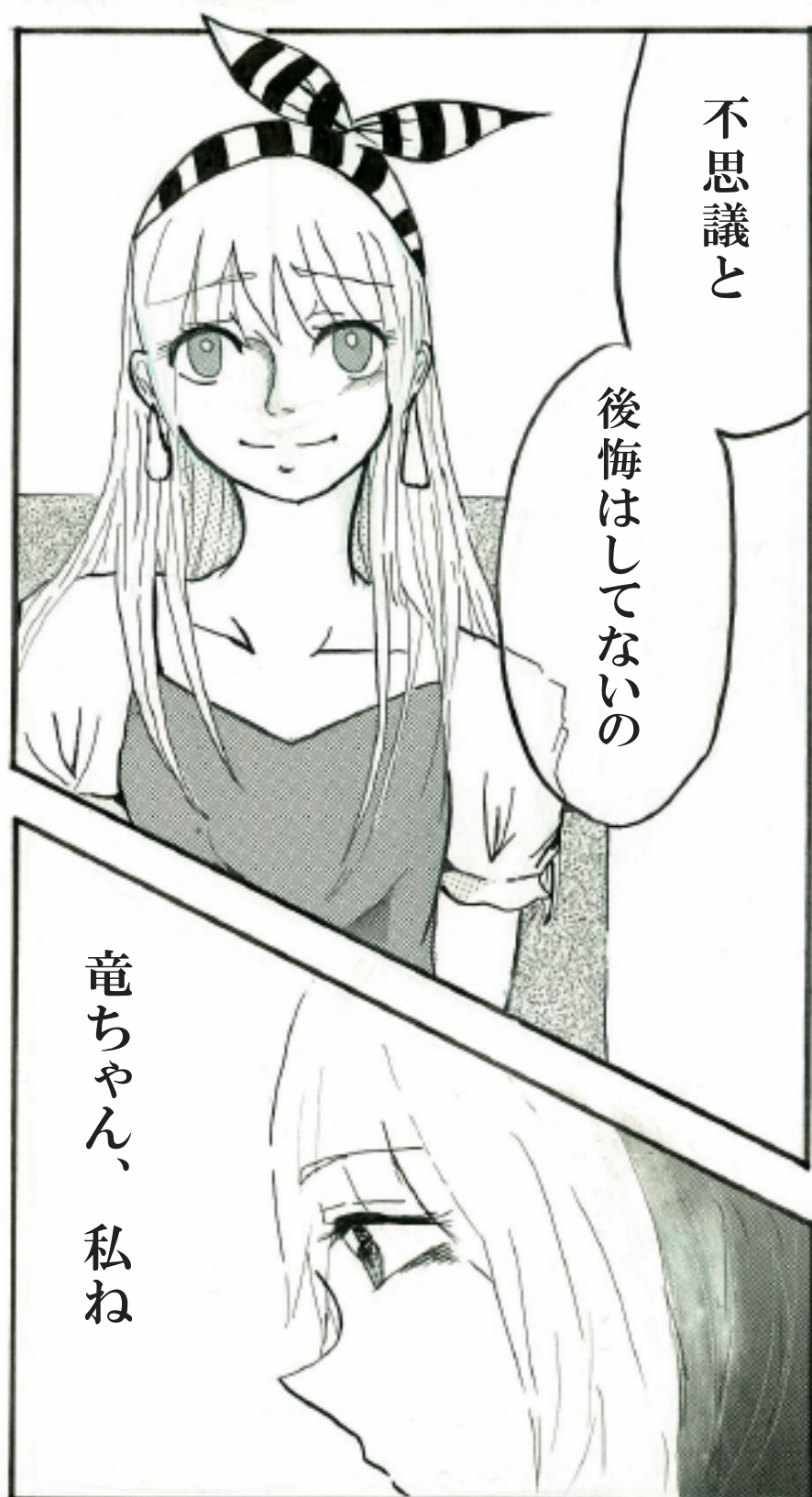
周りは女の私に反対したし、
気持ち悪いって
離れた人もいたわ



でも、これが本当の
私なのよ

不思議と

後悔はしてないの



竜ちゃん、私ね

正直嫌なことの
方が多かったかも
しれない。

けどね、
おかしいことにね



—— 竜ちゃんのその強さに
昔から憧れて ——



これも全部
かほのおかげね

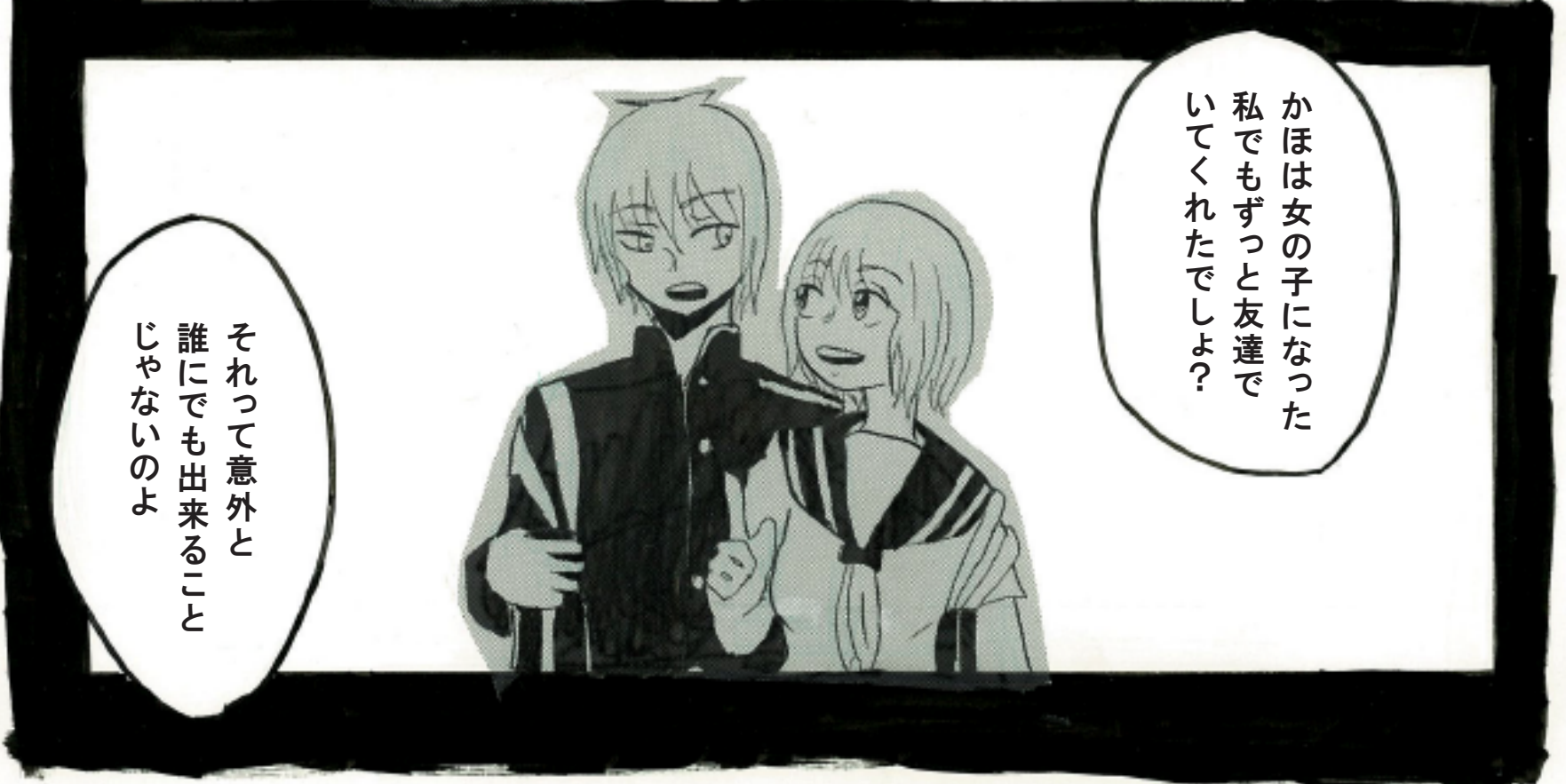


あれ?もしかして
知らないの?

な、なんで!?
別に私は
何もしてないよ?

えっ!?

とん?



かほは女の子になった
私でもずっと友達で
いてくれたでしょ?

それって意外と
誰にでも出来ること
じゃないのよ



男の子だろうと
女の子だろうと
側を離れなかったのは

竜ちゃんが好きだから

性別なんて関係ない
竜ちゃん自身が好き
だったからだと思う

ただこの好きが

どっちの好きか
わかる日は

私ね・・・

竜ちゃんのこと
好きだよ

まだ先の話に
なりそうだけど